定が実施されたのは今から

徳に規定の改正をすべきか随う。

代の流れという蚊咬ば気が多くな その跡を織ぐことになり、 無する学校が増えていたので、時 委員会は廃止され、風紀零

いたっている。

瞿

◇観察する数容易定〉

声が多くある。 中には、

向が固まった。また、軽く場で やのままにしてはおけないと、生

ら、自由化には否定的な面が独立な問題、また彼らの美的センスか

父母何は、風紀の思れや経済的

った。しかし、父母の整理

し、服装の自由化が時代の流れだか、前とあまり変わっていない。しか

Ę

ないでもらいたい

財芸員会が設置され、

ţ

三百九日、

HK保決の約果、自由化への方 四十七年度、この四層をあやか

ろうか。果たして現在の制服物目

昭和四十九年度のことであ なくそう、衛生上良くない等の意 ちってきた。は「教育を支付らうえ」 ちってきた。は「教育を支付らうえ」 なくそう、衛生上良くない等の意

| 娘に上とまっている。この整な るのは特別版であり、私版は少数しかし、大部分の生徒が召用す する)、軍国、封建主張の残りを

ょ

お

まえはどこへ

行く

は規制付自由化となっている。現在、認治における生徒の服装

真重(耐限は間接的に行動を制限

がを 銀巻である。その 踏し合い の中のは、昭和四十四年十一月の金校 三年度に なってからの ことであ 整行規定の改正の数限となった 「脱装い自用化が凝水項目」

自由化の理由としては、何

立つ動きもなかった。 研究は目覚に求かせる、制削もか が改正された。スリッパの改善、 昭和四十五、六年度は生徒間で

、 のような自由化にするか」が話して が かれた。 具体的な自由化の形「V」 というな自由化にするか」が話して 時は都立高校なりでは自由化を実し、かつて教師側は、風紀の乱れの和かつて教師側は、風紀の乱れの

のちな自用化するか」が新し、豊富は、時人は自用か、「規定し のちな自用化するか」が新し、豊富は、時人は自用から、 ま をりて、「規制付目化し工法法、提示するとは、必ず解入すると。 ま ってた。 で、フィスとは、「フィスと、「フィスと、フィスと。 体的な自由化の形 フと については、生徒は『必要なし』。 九月、統一日人が開 三著会談が行われる。 特に援軍的 め、規定から除かれた。 おいまいな向が多く、解釈が難し 規定 選及者は 絶えない。規定は 化へ、逆旋り、したとれく。 のようにいう。「錯閊、規約がで こうで現状におどってみよう。

はれてもらうことを類符します。

くはえてもらうために、次のよう

のまわりがきれいで、出身格に似

小

野

先

生

のレコード観賞 (特にフォーク

(国語)

の視痕の一時間一時間を大切にし

◆ ★ 本校非常助

ているので喊し去がある

う一度数徴したい。

任

鈴

木

(量 生 科)

ш П

先

4

学校 が静か

坂

田

先

生

Ę

社会科

合精先生(現料) 高精先生(現料)

であろう。、近至、の一巻をたどれなどは観光強度のきざしの一つ 定の解釈について計画が行われた。
Rで、整轄規定の明確化」として規
前年度登楼の生徒総会の統一日 ようにがくけりたい。 好きになる人が

人でも始える

核切先牛-让4科

下記。)

なお、質問の内臓は次のとおりで

のはやくこの学校になれて、

松 んとした技楽をしたい。

岡

先

生

奧

沢

先

生

(英 研 籽)

놴

ていくのだろうか。教師側は、前 東郷とか感じられないのでは これからの監督規定ほどうなっ の観点の第一日後の日本の日本 OF れからの核質

維持が機厚のようだ。 和 (場所) を機関の艦 なかったら解脱にしてします。 の 野 ŒV

8本校の定時期にいたので超替に がいいと思う。(第一印象ではは強い養養を感じている。校載 (第一日乗でお

沢

田

∌ 先

ほじい

生

뙁

の生徒となるべく多く接したい。 器

山

先

生

(社会社)

次の二名の先生は都合

名、教科、出身校、前任の在校

の私は今まで地学を勉強してきたのスタンプ・切手組収 の経行知らなかったが出表なの ので地学のすばらしさを知って 川韓音校によく似ている。

のほじめての共学校なので解析しの旅行・玲山・スキー の旧校會の感じがよかった。 でがとけたい。 てきた。はつらつとした雰囲気 瓶 先 生

01年稲田大学 日古い学校だなあと思った。 見若いという特権をもってみた の音楽観賞(特に軽音楽)手芸・ 長谷川 に情熱をかたむけてゆきたい スポーツ観

の数値したい。 写真にある。写真、 母方くて、おちついている。 先生

いう癖も聞いている。こうして、時十一時になるのはざらだったと

映しい山波をのり えて、できた

たのしい戦しゅうれしい戦争。幸せな戦しゅうが永少の戦争

あけるまでには、毎回もの統一H

っていくにあたり一貫述べたい。

歴史したわけだ。▼整磐規定を を構に、漢字。の方向へ海袋を

越 谷 3 丁 目 歩道橋際 TEL 0489-62-3413 越谷1丁目 ヨーカ堂通り TEL 0489 63-0307

ひゃ

二年度の天然が承認された。

今回の予算な続け、 三月十九日に生徒時会が行わ

野い家

号の頃で示した通りだが、今回はた。予算会議のしくみは壊八十九

次のような反省を上げた

ž

中央養は会の然の入れようが伺え」ある。中央委員会会計の佐鵬者はとして、個別交渉が行われるなど「何子り垃期間で終わったようで



四、規則正しい生活を心がけては から高くのことを学んでほしい。

になって「ハイ」とき、安 的な野党の十時より十分 告呼るがり、教人生ち

昭和52年度生徒会予算

851,010 ソフト部 75, 993 219,500 放送委員会 107, 700 98, 500 马道能 85, 940 378, 100 道部 120,500 108,000 118, 500 真 部 曲 343, 440 di 32,300 帯 部 35,640 255,000 99, 900 54,500 器 落 20,000

保健委員会 体育委员会 吹奏楽部 生・地部 54,270 掛 夢 40,000 物理部 52,700 105, 316 軽音楽部 126, 819 上 部 302, 500 合 壁

り、また、多くの先生が本校にこ

個別交渉というのは、時間的に る所があった。 もっと広い機能 新 任 離

回からの予算金属にも必要であったが、個別交渉というのは、次への関系である。 をが、個別交渉というのは、次へ 会計取容がよくやった。 予な合践を争いなく進めていくた野をもって」というのがあったが 自分速のクラブだけでなく めの元はそこであるはずだ。限ら 献しているだろう。 佐藤君の反省の設後に「広い根

今回の予算会議の成功した点に質

がろう。 は、四要な事である。 を対うは、四要な事である。 を対うる。 いたというとだが、このことも ある。合語は、合計監告が良く曲 会計監督は、個名がとて には原因心であるような人が多数には少し疑問があった。予算の承認 合は場合の確決機関であり、 生徒総合での予算の策略のされ方

なかっただろうが、節値をやって って、各部学算の承認には興味がた。部間副をやっていない者にと 自然が足りないように見つけられ 見つけられたことである。生徒総 てもよかったのではないだろうか 各部学身の兼理には興味が ħ

ル、ソフトボール、卓球と四個官 で開かれ、射錆中心だった一昨年つくろう」のテーマのもとに掌高 バレーボール バスケット

特っています。上級生も下級生も

を紹介しておきますので、個子承 名雄一人一人です。 たっている。この問題をこ たってきたように、我々にも 々の先輩方が数々の配告に 音をいれてきたのである。 方は、たゆまない努力と行動

は、方針に整 容見を回頭を かか は、方針に整 容見を回頭を かか 中、少しも問題 は進度して いな

g

私にお電話下さい

にきび、しみは必ず治せる! 西田達弘著 婦人生活出版

> にきびでお悩みの方御一読下さい。 西田式体内浄化美容法指導

(62) 2720

僕らと共に歩もう 新入生三六六名入学 括、朝、顔を洗っことから表別を

日円に上がるので、木松生徒が一

だろうだ。この「三年計画」がで

春

日ざし

。 の

中

生にお印きしたところ、この何上

中にお聞きしたを言う。この頼上 けらわけにはいかないので、三年 | 在徒のななさんは、それ以後の成上げの項目の事項はの内訳先 計画ができた。しかし、一常に上 る」とになっているとのことだ。
 中になっているとのことだ。

間で三千二百円まで上げるという。横上げのことが気になると思うが

「三年計画」が出きたということ「今のところ領土げの子定はない。

差、 徒翁が

本年度から、接続料が公司円数・6四千三百円になった。

おまえもか

値上げ

授業料より

そのあと観台市立梁地中学を革いう意味では成しさを体験した生 他といるるし、受験に表れた生徒 ともいるる。しかし、やはり、選 二、総正した労労団役をつけさい。こ、住権関の中で正いる。これは基礎的なことを中心に対策の対策等の対策をはからという。と、二、住権関因の中で正いる。と、一、 けで、一学生担任の先生方の収載 込みが感じれた。 多くのなび、概した、期代、不 始の手も行うたいほどの忙しさ

許可された。今年の新入生は一・

ます。」とおいさつを述べた。 を代表して「数学に、クラブ生徒

続いて楽費の方々にこあいさつ

一地えたことが特別だ。」ちなだ

一年生六七人中冬は一七一人 また、一年生をとのように指数

た。差、經点とて多か

安、規模が交替する高校時代。

ーバーと、「ある存在だなる」 校の校庭は特別の用とされるクロ

ものまれなほ、ずいぶとうけ (つまり今年の卒業生)の人達の で月ともなると、我が越ケ谷高 たんぽぽ広場

ていたようだった。特に三年生

教えるのだ。昨年は、クラス単位|生が少しても見くこの範疇に動れ

越高

の行

の際にはこれからの音校生活に対

年指導方針の発表があった。

年生設督、我々上数生は答んでき 合持常先生、官姓茂朝先生、内田 高精利男先生、国江礼子先生、 る。モレナミーは、「タンボボ広 過しと化するのできる。

じまった。もち多れないほどのビラブの壮烈な部員領標合戦からは

た。 「今年は非常に扱い門で、 七

三〇名もの不合格者が出た。そう「指導する。

彼らの音校生活は各ク

我々の取材に応えて、今年度の新

こつの大きな柱をもっている。

基本的生活物信をきびしく

つず、

年歩至主との山中先生は、

毙の呼びよの中で、

他人った新入生は監督した たななななで感じることが

会予 鞭算

短

期

間

成

<u>扩</u>

芜

受々先が強が、新しく我が校に入った。 でわれるかと言うことであるが、一

また、お互いを知るためにもすば 新人生にとってのこの第一の行 ならないものの一つでもあると思

教、見ばである。 れち 今年も旧もなくタンボボの幸働

によい

まらずに、液なきっ

節はもろぞ。そんなちっぽけな数 力にかかっているのだ。され、季 するかは、みなさん一人一人の協 さん。この行事が失敗するか成功

に飼っていたようだった。これも の確可さに合け、次常にこの発展

遊んでいこうではないか。我々越

っぱな大空に向かって力い

高生として恥じないように

そとなが

子な傾は表の通りである。しかし 存在 交流集会

今年で第九回をむかえる交流拠との交流総会が細かれる。 食はいったいとのようなものにな 去年は「まあるいまあるい輪を 我が校と単加は校

日から一十一日までおこなわれ

整の生徒が我に、他じ、 計論、そして、前回から取り入

自由化が無行された。承古の前、粉帯以来散構されてきた しい変化を見た。そして、 復共学となり、校舎も増えた。

地会を理解し、自主的に参加して 持してきた。生徒会活動も質 学校として発生したわが校も、▼

明ってくれた

いかなくとも、半分以上は参加し 学路。五十余年もの隔離高生を見 守り続けて、数々の先短方がこの

加省はたったの六十二。二段の交



・事務用品 文具 が 「 **5** ボタン有ります。 T 校章・襟章 TEL (65) 2511 - 15 (越高通り)